

広島県中小企業団体中央会 2019年9月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

広島県東部菓子商工業協同組合

消費税率引き上げの影響はなかった。

地方発送のある企業は運賃負担の大きさに疲弊しており、収益を圧迫している。

中国醤油醸造協同組合

9月の出荷量は前月比3.4%増加、前年同月比3.3%増加となり、売上高は前月比6.7%増加、前年同月比4.3%増加となった。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和元年8月の全国の住宅着工戸数は76,034戸で前年同月比7.1%減少
- ・季節調整済年率換算値では89.1万戸(前月比2.1%減少)
- ・利用関係別では、持家は24,027戸で前年同月比1.6%減少、貸家は29,255戸で前年同月比17.5%減少
- ・分譲住宅は22,517戸で前年同月比5.6%増加
- ・木造住宅着工は43,663戸で前年同月比7.1%減少
- ・住宅着工の動向については、引き続き借家の減少が著しく、1月からの総戸数累計も需要の最盛期でありながら2ヵ月連続で減少している。

<広島>

- ・広島県内の8月の着工戸数は1,408戸で前年比14.0%減少、このうち持家は499戸で9.2%増加、貸家は480戸で33.1%減少、分譲は428戸で26.3%増加
 - ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2ヵ月連続の減少となった
 - ・地域別では広島市が着工戸数750戸で14.6%減少、福山市が205戸で22.9%減少、呉市は50戸で15.3%減少
- の一方、東広島市は135戸で73.1%増加、廿日市市は46戸で170.6%増加と地域毎にばらつき見られる。プレカット工場も8月後半の悪天候で基礎工事の遅れや大工職人不足、図面確定の遅れで下降が先送りされるなど一服ムードがあり、地域や工場によって受注状況に差が生じている。構造材メーカーの受注も8月より悪化している。機械等級製材の漸増など、非住宅の中大規模木造建材へ今後の期待もあるが、採算性などの不安材料もあり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

広島県北部国産材加工協同組合

原木の出材が減少し、丸太相場は桧を主体に上昇した。丸太高製品安の傾向が強い。

新築住宅は増税後の施策が手厚いため、駆け込み需要はほとんど感じられなかった。様々な業界で景況感が悪化していると感じており、特に梱包材など産業用資材の需要落ち込みが著しい。

福山木材協同組合

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要がほとんど感じられない分、落ち込みもなさそうである。来春に向け、仕事量は増加すると思われるが先行きは不透明である。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

消費税率引き上げを控え、駆け込み需要が若干あったように感じる。しかし、以前の増税時の印象とは違い、物の買いだめとは違った消費者の動きがあるようにも思われる。これを機に全社で新しい店舗づくりを考えるなど、印刷業の「コトづくり」への提案が益々必要になってきていると感じる。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

第2四半期において、前回のような駆け込み需要はなく、自動車業界においては第1四半期に比べ、仕事量は減少傾向にある。米中貿易摩擦による輸出(特に中国、米国向け)が停滞していることが主な要因である。

10月からの消費税率引き上げが景気の下振れ要因になると懸念している。各社残業の削減や投資縮小、経費削減を行わなければならないと判断している。さらに、中東情勢により原油価格の高騰も心配している。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は、生産調整等によりやや悪い。全体的に現状を維持している。不安定要因が多く、先行きが懸念される。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

元年9月 3,219m³（前年比14.43%増加）

元年8月 2,530m³

元年9月 2,813m³

（鉄鋼・金属製品）

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

溶断（（金属素材を融点以上に加熱し切離す））工場が1件倒産した。比較的電気使用量が多かったため、組合への影響も懸念される。

（一般機器）

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比41.2%増加となったが、出荷時期の変更等による売上計上のタイミングによるものである。前年同月比15.5%減少でやや減少傾向で推移している。

業界の受注総額は2013年4月以来の900億円割れ。米中貿易摩擦による設備投資環境悪化が国内外で進行している。

出島工業会協同組合

組合員企業の動向については、大きな動きはない。

役員の高齢化、世代交代が組合の課題である。

増税前の駆け込み需要があったようである。

（電気機器）

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の国内売上は前年並みであるが、輸出の低迷が続いているため前月比2.5%増加、前年同月比5.25%減少となった。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮しそうである。

（輸送用機器）

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の業況（生産台数）に比例している。

- ・9月の国内自動車販売台数は全需が548千台、前年同月比12.9%増加と3ヶ月連続の前年超え。登録車は前年同月比21.8%増加と3ヶ月連続の前年超え、軽自動車は前年同月比で13.2%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は21.6%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・アメリカの8月の全需は1,650千台で前年同月比10.9%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同6.5%増加と14ヶ月振りの前年超え
- ・欧州の8月の全需は1,224千台で、前年同月比8.7%減少と12ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同11.5%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・中国の8月の全需は2,120千台で、前年同月比1.0%減少。マツダ車は同20.7%減少と2ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の8月の海外販売合計台数は102千台、前年同月比11.3%減少と12ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの8月の輸出動向については、輸出台数は前年比12.8%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの8月の国内生産台数は、前年同月比16.1%増加と2ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2500総トン以上の令和8年の船舶建造許可実績は5隻、298,750トンであった。（前月3隻100,900総トン、前年同月1隻13,550総トン）なお5隻は全て輸出船で貨物船であった。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

GW以降、全体として停滞感があり、米中貿易摩擦や消費税率引き上げ等が重なったことによるものと思われる。

「資材関連」においては、資材の値上がり分を販売先に転嫁できない状況にある。同業者の淘汰が進まず依然過当競争の状態である。

「雑貨」においては、メーカー等からの値上げ要請もあり、得意先への価格転嫁はタイムラグもあり苦

戦している。

「食品」においては、夏場は売上が低迷。物流コスト上昇の影響もあり業績は引き続き厳しい。消費税率引き上げに伴う手続き面で煩雑さが増し、間接経費等の増加が懸念される。

「繊維」においては、消費税率引き上げ前の特需はみられなかった。物流費の上昇により、収益環境は引き続き厳しい。

近隣の商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇。人手不足感も継続している。また、街中と比べて立地条件が悪く人手確保が難しい。

・売上等の各項目は一進一退で大きな変化はない。人件費、配送、燃料費が上昇傾向にあり依然厳しい。

●卸売業（生鮮）

広島水産物仲卸協同組合

鮮魚の入荷が少なく、価格上昇に繋がっている。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の7月の着工状況は、前年比5.5%減少した。内訳としては、持家2.0%減少、分譲18.4%増加、貸家29.5%減少と全体では前年比減少、分譲のみが増加した。

消費税率引き上げによる駆け込み需要は大きく感じられないが、工具関連商品の発注が増加している。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

今月の売上は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、前年比50%程度増加。しかし、その反動減で10月の第1週の売上は前年比30～40%減少であった。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

国産畳表の取引状況は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり、売上は堅調に推移し、取扱量も増加した。販売価格も高値安定している。新草の畳表も出回る時期になった。

JAS畳表（主に中国産表）は伸び悩み、前年並みの取扱で推移した。国産の化学表（パルプ）は堅調に推移している。

（小売業）

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

9月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により前年を大きく上回ったが、10月以降の反動減を懸念している。

広島生鮮三品連絡協議会

鮮魚は台風等の気象条件が影響して商材不足となり、相場高が続いている。

野菜は前年より入荷が多いが消費が伸びず、前月から相場安が続いている。

果物は平年並みの入荷となったが、相場高が続き、売上は順調である。

スーパーなど大型量販店は消費税増税前の特需があり、売上に大きく影響しているが、来月以降小売業界全体で反動減が懸念される。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比1.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比9.6%減少、冷蔵庫同1.6%減少、洗濯機同1.0%増加、IHクッキングヒーター同5.8%減少、電気温水器同12.7%減少、エアコン同4.4%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

消費税率引き上げに対して、5年前の引き上げ時ほどの混雑はなかった模様である。しかし、サウジアラビア石油施設へのドローン攻撃の影響による原油価格の高騰が重なり、小売価格への転嫁ができておらず、一層の収益悪化が危惧される。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

閉店後の店舗跡地に次々とマンションの建設が予定されている。

空き店舗の活用策として、創業支援イベント等の開催が予定されている。

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要は特にない。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比25.1%増加、前年比12.7%増加
車検場収入は、前月比22.8%増加、前年比13.0%増加
重量税・登録印紙上は、前月比24.4%増加、前年比33.7%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

今月は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要も多少見うけられたが、受注縮小に伴う受注の減少により売上は減少した。今後も受注は減少していくものと思われる。

(建設業)

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

今月の電気工事受付件数は、400件と再び増加に転じ、前月比142%増加、前年比114%増加となった。消費税増税前の駆け込み需要ではないかと思われる。新築比率が高く48%となった。来月以降反動減を懸念している。今年度に入っても作業員不足は解消されず益々深刻化している。

広島市指定上下水道工事業協同組合

材料の売上げは減少している。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、今月は前月比30.9%増加、前年同月比11.8%増加、前年累計比5.3%増加となった。カーテン、壁装が伸びたことで全体を押し上げた。敷物は低調が続いている。今後年度末に向けて売上拡大を期待する。今後は大口物件の見込みがなく、小口のかき集めが続く見込みである。

神辺建設業協同組合

引き続き人出不足が続いている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

9月後半は消費税率引き上げ前の家電、日用品等の駆け込み需要により、車輛不足が起こった。荷動きは活発で、売上は増加し収益も改善した。10月は反動減により荷動きが悪く、売上、収益は減少する可能性もある。

松永地区トラック事業協同組合

9月の売上高は前月比増加、前年同月比変化なしとなった。収益状況は前月比で大きな変化はなく、前年比悪化となった。軽油価格が9月中旬から下旬にかけて上昇したことが主な要因であると思われる。10月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要を期待したが、季節商品が通常通り動いただけで、特に大きな荷動きはなかった。今後、東京オリンピックに向けて荷動きが活発になることを期待したいが期待薄であるため、原油価格の安定を期待している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

消費税率引き上げに伴う荷動きへの大きな影響はなかった。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

平成30年7月豪雨の影響により、7月の輸送量が減少しているため今年は前年比増加となったが、例年に比べて大きな変化はない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月の売上は、公的評価報酬の入金があり、前月比増加した。前年同月比は特に変化はない。

当月から本格的に市町の固定資産税標準宅地評価及び国交省の地価公示評価作業が始まっており、12月からは国税の相続税標準宅地評価も始まるため、年末にかけて多忙になると思われる。

地価はホテルやマンション建設用地の需要が強いため、依然として上昇傾向で推移している。資金力のある県外資本の不動産業者が高値で用地取得を行うため、地元の中小企業不動産業者の用地取得が難しくなっている。